

# 有明海・八代海・天草諸島の生物と化石の実体験を通して学ぶ教育拠点

—地球と生物のダイナミックな歴史を実体験する—

◎：施設名「熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 合津マリンスターション」

## 背景

今般、海洋についての知識と理解、関心を深める教育推進と、海洋に関する課題に的確に対応できる人材の育成が、社会的にも臨海実験施設に強く求められている。

## 概要

ムツゴロウなどの大陸遺存種を始めとする多様な生物が生息・生育する有明海・八代海。多種多様な露頭や化石を多産し、天草ジオパークに指定されている天草諸島。このような施設周辺の資源・利便性を最大限に活用できる教育プログラムを開発し、生物学・地球科学を始めとする学際的・複合的な海洋教育の開発と実践を行う。

## 期待される効果

- 生態学・地球科学を中心に、水産学・環境科学などの講義・実習を行い、化石から現生までの生物を対象とした学際的・複合的な講義・実習の開発と実践を行う。
- 科学的な体験を通して海洋の理解と関心を深め、理系だけでなく、教育系や文系の学生にも対応できる多様なカリキュラムが提供できる。
- 地球と生物のダイナミックな歴史に関する講義・実習は、学ぶ者に感動と興味を喚起する。
- 実験生物や岩石・化石試料等の学外への提供にも意欲的に取り組んでおり、これらは実習にも活用されている。

## 目的・ねらい

教育拠点として、複合的・学際的な教育カリキュラムに実体験を融合させた能動的な学修教育の実施により、海洋教育の関心を深め、さらには予測困難な時代を生きる若者へ質の高い潜在的能力を身につけさせる。

